

〔学術大会講演録〕

第7回学術大会シンポジウム「今後必要となる医薬品情報とは？」より

## 適正使用に向けた Academic Detailing 情報活動の重要性

### Importance of Academic Detailing Information Activities to Ensure Proper Use

山本 美智子 MICHIKO YAMAMOTO

昭和薬科大学薬学部

**Summary** : The backdrop to academic detailing, which has become a focus of attention, is the non-appropriate use of drugs, safety problems for patients, and the remarkable rise in medical costs. If we depend solely on clinical experience and information derived from commercial activities, it may lead to improper prescription practices. Therefore, it is necessary to provide proper information in addition to considering the cost-effectiveness of prescription drugs to ensure their appropriate use in clinical practice.

Academic detailing is an approach of interactive educational outreach to physicians for the purpose of providing unbiased, non-commercial, evidence-based information about medications and other drug therapies, with the goal of improving patient care. In Western countries, public funds are used to support universities and other research institution programs. Clinical pharmacists are acting as detailers in Europe and US, and this contributes to improvements in the quality of medical services. It is hoped that the importance of academic detailing activities will also be recognized in Japan.

**Key words** : academic detailing, appropriate use of drugs, evidence-based medicine, drug information, cost effectiveness

**要旨**: Academic Detailing が注目される背景には、医薬品の不適正な使用、患者の安全性問題、医療費の高騰などがある。コマーシャルベースの情報や臨床経験のみに頼っているのは、不適正な薬物治療につながりかねない。そのために、適正使用に向け臨床の現場への薬物治療に関し費用対効果も考慮したエビデンスに基づいた情報提供が必要である。

Academic Detailing とは、医師に対するインタラクティブな教育的なアウトリーチの手法で、医薬品や薬物治療に関しバイアスのない、コマーシャル的ではないエビデンスに基づいた情報を提供し、患者ケアの改善をゴールとする。欧米各国では、公的機関や大学が実施する同プログラムが普及し、公的資金が導入されている。Detailer の多くを欧米では臨床薬剤師が担っており、医療の質の向上に貢献している。Academic Detailing 活動の重要性が国内でも認識されることを期待したい。

**キーワード**: アカデミック・ディテリング、医薬品の適正使用、根拠に基づく医療、医薬品情報、費用対効果

## 1. はじめに

医薬品の適正使用は、患者の安全性確保はもとより、不要な医療費の削減に大きく貢献する。医療費の総額は、2012年時点で40兆円に達し、団塊世代が75歳以上となる2025年には60兆円を超すといわれている。薬物治療においても、根拠に基づき有効性・安全性を評価し、費用対効果を考慮した治療の推進が重要な課題である。そのような状況下、Academic Detailing は医薬品の適正使用に向けた活動として注目を集めており、欧米各国では、大学、

公的な機関や自治体などが実施する同プログラムが広がり、公的な資金が投入されている。薬学教育が6年制となり、医療の高度化に伴い医薬品の有効で安全な使用といった社会的要請に応え、医療の担い手としてより専門性をもった薬剤師の育成が進められている。厚生労働省医政局通知の「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」にあるように、薬剤師がチーム医療に主体的に参画し、薬の専門家として医療に貢献することが期待されている<sup>1)</sup>。

## 2. Academic Detailing とは何か

Academic Detailing とは、医療従事者に対する教育的なアウトリーチの手法で、訓練を受けた

\* 〒194-8543 東京都町田市東玉川学園 3-3165  
TEL & FAX : 042-721-1534  
E-mail : m-yamamoto@ac.shoyaku.ac.jp